

安全・環境方針

親力海運グループは、「海は自分で守る」という信念を持って、安全・確実な海運業サービスを提供することにより、地域社会とともに「環境の保全に努め、環境にやさしい企業活動」を行います。

また従業員の安全と健康の確保は企業活動に不可分な関係と認識し、安全で働きやすい職場環境の確保に努めます。

我々は海洋環境の保護・環境汚染の予防を図り健全な環境保全活動と安全衛生活動の推進ために、以下のように安全・環境方針を定めます。

- 1、労働安全衛生及び環境に関する法規制、親力海運グループが同意したその他の要求事項を明確にして遵守します。
- 2、現状の事業活動のなかで、以下の項目の改善に取り組みます。
 - (1) 労働安全衛生及び環境マネジメントを実施、維持し、及び改善し、その活動の推進を図ります。
 - (2) 荷役時における積荷の海洋落下防止、又、海難事故等緊急事態による油の流出、積荷の流出等、海洋保全に努めます。
 - (3) 合理的配船・潮流の利用等、資源及びエネルギーの節減を図ります。
 - (4) 事業活動に伴う社会環境への影響を考慮し、地域社会とのコミュニケーションを図り、「地域及び事業を通じて環境再生」に努めます。
 - (5) 産業廃棄物の収集運搬業の事業活動から生じる環境影響を的確にとらえ、当社グループの事業活動の信念に則り、関係する企業から委託される廃棄物の適正処理に努めることはもとより、廃棄物の資源化拡大に積極的に取り組みます。
 - (6) 自社及び協力他社も含め船舶における海難事故、労働災害の防止を図ります。
 - ・クレーン使用した作業に伴う事故ゼロ
 - (7) 全従業員の運動不足を解消し、健康促進を図ります。
 - (8) 船舶における部品等の在庫をデータ管理し、オフィス、船舶で共有し管理します。

以上の実現のため、安全・環境方針、目的・目標を維持し、すべての従業員及び構成員に周知徹底します。

この安全・環境方針は、一般の人が入手可能であるようこれを公開します。

2017年11月1日

親力海運グループ

親力海運株式会社

代表取締役社長 渡邊 雅允